

# 水質事故対策訓練を実施しました

日時：令和5年5月24日（水） 13:00～15:30

場所：中川公民館（中川コミュニティセンター）・中川排水樋管  
（三重県松阪市嬉野中川町927番地）

目的：迅速かつ適切な対応で被害を最小限に抑えるために、水質事故の正しい対策方法や水質事故発生・対応状況に関する情報共有の重要性を習得する。

参加者：27名（各機関職員）

三重県、独立行政法人水資源機構、四日市市、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、伊勢市、大台町、NPO神社みなとまち再生グループ、国土交通省蓮ダム管理所、三重河川国道事務所

講師：NPO法人自然エネルギー・環境協会

中部地方整備局中部技術事務所 環境共生課

## ～水質事故対策訓練の様子（説明及び実演）～

### 交通事故時の油流出事故対応



### 水路の油類拡散防止対応



### オイルフェンスの連結方法



### 油種の判別訓練



## ロープ結びの実践



もやい結びの練習をしました

## 簡易水質検査(電気伝導度計)の実践



測定後は、水で洗ってください

塩分濃度を確認します

## オイルフェンスの展張実践



皆で協力して実施しました！

## 簡易水質検査(パックテスト)の実践



色の変化で水質を判定し、原因物質特定の一助とします

(事務局より)

水質事故の原因で特に多いのが油類の流出事故です。中でも例年交通事故に伴うものが多く発生しており、路面に流れ出た油は吸着剤を用い、水路への流出を防止することが重要です。

また、水路や河川に流出した油は**拡散防止**を最優先で行うとともに、油の種類に応じた対応が必要です。原因がわからない場合は、簡易水質検査や電気伝導度計測から異状の有無・原因を突き止めることも可能です。

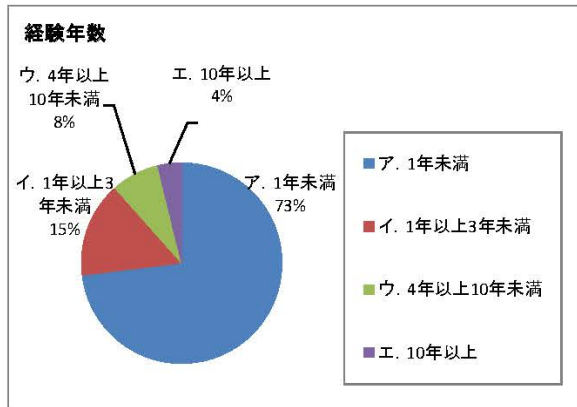
水質事故対応においては、**迅速かつ適切な対応**が被害の拡大を防ぎます。そのためには様々な知識とともに日ごろからの事前準備が必要です。

次項に、今回の訓練に参加された方々の声を紹介させていただきます。

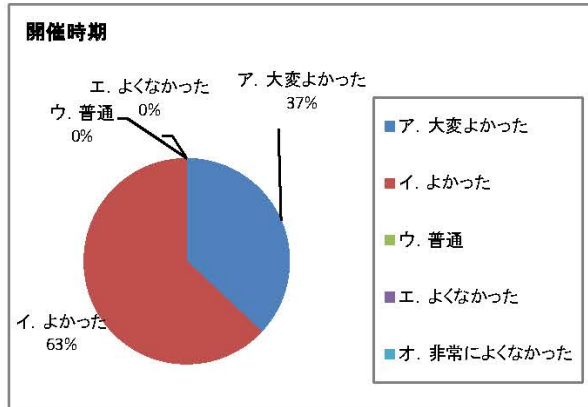
(事務局)



### 1. 経験年数について

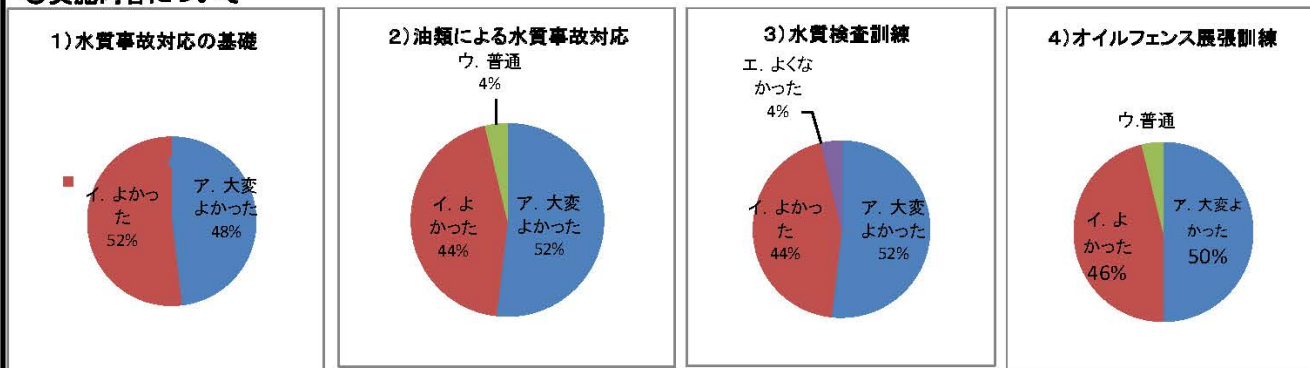


### 2. 開催時期について



### 3. 水質事故対策訓練の内容について

#### ○実施内容について



#### ※自由回答より

- ・マット以外に珪藻土での回収が有効で、油処理剤は逆効果であることが分かった。
- ・水路や河川の平面図から効率の良い設置場所を選定する訓練をしてみたいと思います。
- ・様々な種類の薬剤に対しての処理方法を知りたい。
- ・実際にフェンス張り等を行えたこと(参考になった。)
- ・油の種類を判別する方法を知りたい。
- ・自分で実演する時間をもう少し多くとっていただきたいかった。
- ・もっと実践形式を増やした方がよい。

### 4. 困っていること苦慮していること、不安に思っていること

- ・経験値が無く不安である。
- ・発見が遅れないか心配
- ・経験がないが排水経路を見極めることが大切である。実際にできるかが不安である。
- ・水路の系統を知る人が地元住民しかいない。
- ・増水時のオイルフェンスの効果的な設置方法は？
- ・オイル回収後のマットの処理法
- ・現場まで遠い箇所がある。(車で1時間以上かかる所もある。)

### 5. 意見要望

- ・今後も続けてほしいです。大変勉強になりました
- ・河川でのオイルフェンスの設置、水質の調べ方などこれからの仕事で必要になることを多く学ぶことができた